

エプロン〔滋賀県歩道整備マニュアル仕様〕

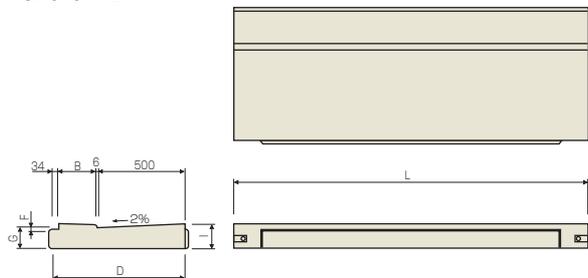
寸法図

(単位:mm)

PGF型 T-25対応

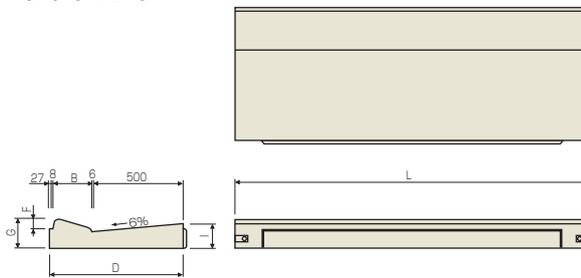
歩道乗入PL11 2%

PGF515-N-B11



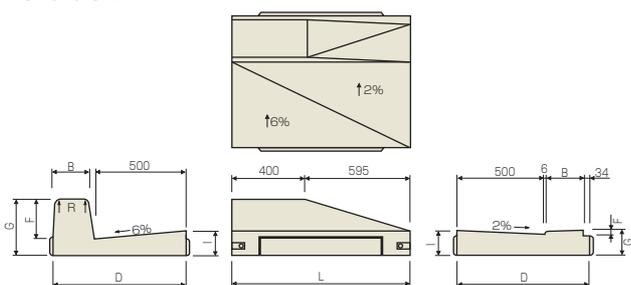
車乗入PL13 6%

PGF515-N-B13



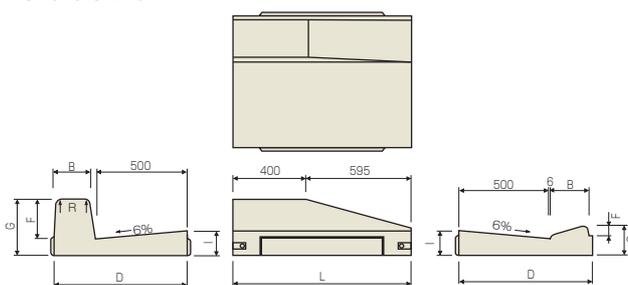
歩道乗入斜用PL11 2%

PGF515-S-B11



車乗入斜用PL13 6%

PGF515-S-B13



エプロン厚 150mm(200mm・250mmタイプもあります)

(10mあたり)

種別	呼び名	寸法(mm)						参考質量(kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	ラフレール クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	ラフレール クレーン
乗入用	PGF515-N-B11	180	720	40	160	150	10	535	267	0.1	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.8	0.3
	PGF515-N-B13	180	720	50	170	150	20	502	251	0.1	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.8	0.3
斜用	PGF515-S-B11	180	720	200~40	320~160	150	30~10	—	305	0.1	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.8	0.3
	PGF515-S-B13	180	720	200~50	320~170	150	30~20	—	307	0.1	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.8	0.3
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

※1 歩掛は運搬距離30m程度を含む標準的な据付作業であり、床掘、基礎、埋戻し等は含まれません。

※2 諸雑費は小運搬器具の損料、目地材取付け及び敷きモルタルの費用として、労務費、ラフレールクレーンの賃料の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上します。

※3 据付けに使用するラフレールクレーンは4.9t吊りを標準とします。ただし、現場条件によりその規格を変えることができます。

取扱地域 **北海道** **東北** **関東** **中部** **北陸** **近畿** **中国** **四国** **九州** **沖縄**

※取扱地域が記載されていない地域については、担当営業所(P572)にお問い合わせください。

ロングU 階段ロングU 街渠樹 ロングUふた **エプロン**

カルバート・
下水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境

貯留・
防災システム

通信関連

建築・宅造

特殊工法・
新素材

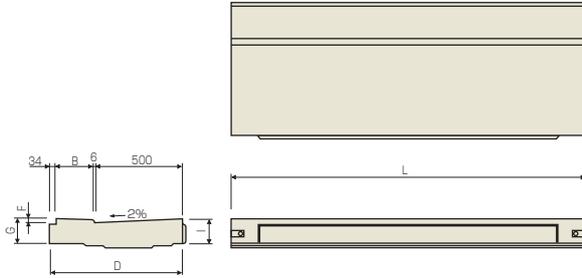
参考資料

寸法図

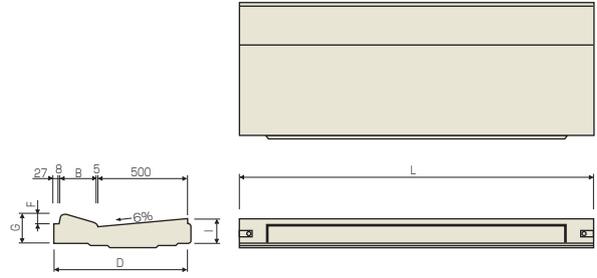
(単位:mm)

PGUF型 T-25対応

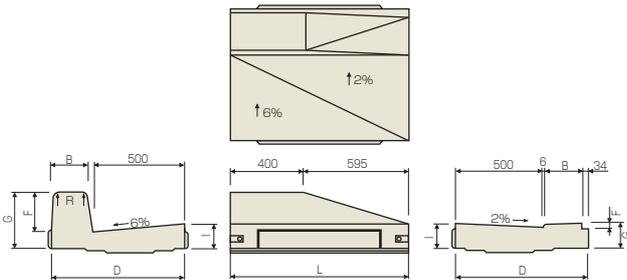
歩道乗入PL11 2%
PGUF515-N-B11



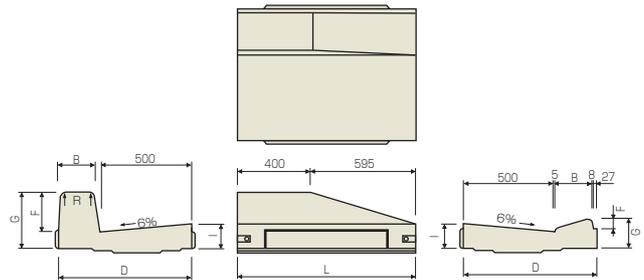
車乗入PL13 6%
PGUF515-N-B13



歩道乗入斜用PL11 2%
PGUF515-S-B11



車乗入斜用PL13 6%
PGUF515-S-B13



エプロン厚 150mm

(10mあたり)

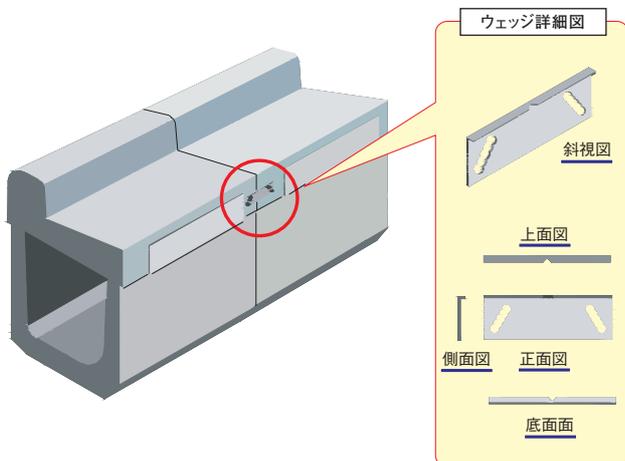
種別	呼び名	寸法(mm)						参考質量(kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木世話役	特殊作業員	普通作業員	ラフレックスクレーン	土木世話役	特殊作業員	普通作業員	ラフレックスクレーン
乗入用	PGUF515-N-B11	180	720	40	160	150	10	539	269	0.1	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.8	0.3
	PGUF515-N-B13	180	720	50	170	150	20	511	253	0.1	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.8	0.3
斜用	PGUF515-S-B11	180	720	200~40	320~160	150	30~10	—	309	0.1	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.8	0.3
	PGUF515-S-B13	180	720	200~50	320~170	150	30~20	—	311	0.1	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.8	0.3
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

※1 歩掛は運搬距離30m程度を含む標準的な据付作業であり、床掘、基礎、埋戻し等は含まれません。
 ※2 諸雑費は小運搬器具の損料、目地材取付け及び敷きモルタルの費用として、労務費、ラフレックスクレーンの賃料の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上します。
 ※3 据付けに使用するラフレックスクレーンは4.9t吊りを標準とします。ただし、現場条件によりその規格を変えることができます。

コンクリート製品連結金具PAT

ウェッジの取付方法

A. 新タイプのウェッジ



- 1**

①ウェッジはプレートと2組のボルト、ワッシャでエブロンを連結します。

使用工具
ハンマー レンチ
- 2**

②折り曲げ面を上側にして、プレート穴にボルトとワッシャを差し込み、手でボルトを締めて固定して下さい。その際、プレートはできる限り水平に取り付けるように注意して下さい。
- 3**

③ハンマーでウェッジ上部の折曲面を叩くことで、ボルト穴への固定が強力になります！(下図参照)
- 4**

④最後にレンチを使ってボルトをしっかりと固定して、全工程終了です。

完成!

B. 従来のウェッジ

- 1**

ウェッジは、プレートとクサビを一組として使用します。施工工具としては、レンチとハンマーを用意して下さい。
- 2**

プレートは、折り曲げてある側を向かって右に向け、左側の丸孔にワッシャをはさんでボルトを差し、レンチ等でかたく締めて下さい。
- 3**

右側の長孔の上にクサビを当て、ワッシャをはさんでボルトを差し、指で締まる場所まで締めて下さい。クサビは、製品間の隙間により向きを変えます。下図を参考にして下さい。

A

隙間幅約10mmまで

B

隙間幅約10~20mm

短いほうを右下
- 4**

上図Aの向きでの使用が困難な場合は、ボルトを少し緩めれば、取り外すことなくBの向きに回転できます。
- 5**

クサビの頭をハンマーでたたきます。たたきにくい場合は、上右図のように別のプレートをあててたたきます。
- 6**

右側のクサビを固定するボルトを、レンチ等でかたく締めて取付完了です。

カルバート・
下水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境

貯留・
防災システム

通信関連

建築・宅造

特殊工法・
新材料

参考資料

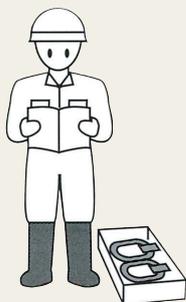
安全確保のために [安全に作業していただくためにこの事項をお守り下さい。]

危険 **注意**

取り扱い全般について



- 法的資格のない人は、絶対にクレーン操作、玉掛け作業をしないで下さい。
(クレーン等安全規則第221条、第222条)
- 吊り上げ運搬中や反転作業中には、つり荷の落下、転倒範囲内に立ち入らないで下さい。
(クレーン等安全規則第28条、第29条)
- 製品が1mを超える物は、必ず4点吊りで行って下さい。又は、1m以下の製品は必ず2点吊り作業を行って下さい。
- 作業開始前の点検や定期点検を実施して下さい。
(クレーン等安全規則第217条、第220条)



作業前の確認について



- 吊り金具の変形、亀裂、溶接亀裂、摩耗等異常のある物は使用しないで下さい。
- つり荷の条件が次の場合は吊り金具を使用しないで下さい。(吊り穴(インサート)の破損した製品、破損及びクラックの入った製品)



- つり金具に使用するスリング、シャックルは玉掛け作業に適合した物を使用して下さい。



施工する時の安全対策



- 製品の吊り上げ、吊り下げ時には部材の下に絶対、人が入らない様にして下さい。
- 掘削機(ユンボ)での吊り上げ、吊り下げ作業は、絶対しないで下さい。
- 掘削機は回転運動になるため吊り上げ、吊り下げ時、スリングがはずれたり荷ぶれが生じる危険性があります。
- 製品の吊り上げ、吊り下げには垂直に昇降するクレーンなどを使用して下さい。
- 玉掛け作業は必ず有資格者が作業して下さい。



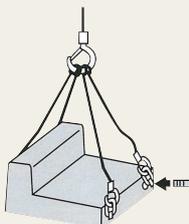
吊り金具の取り付け



- 製品本体の吊り穴(インサート)に吊り金具のボルトを奥までねじ込みセットして下さい。
- 吊り上げ時に吊り金具が外れない様、十分ねじ込めているか確認して下さい。



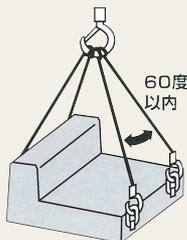
- 吊り金具と製品部材で手、指を詰めない様に注意して下さい。
- 吊り金具セット時に製品を破損させない様に注意して下さい。



エプロンの吊り上げ



- 吊り金具の基本使用荷重を超える製品は、絶対に吊らないで下さい。
- 製品や吊り金具に衝撃荷重が働くようなクレーン操作はしないで下さい。
- 吊り上げた製品には、絶対、人は乗らないで下さい。
- クレーンで巻き上げるとき、吊り金具に荷重が掛かった時点で一旦停止して、安全確認(差し込み深さ、スリングのねじれ、吊りバランス)を確認して下さい。
- クレーンの巻き上げ、巻き下げは、静かに丁寧に行って下さい。



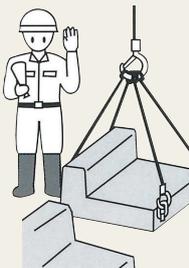
据え付け



- 製品を引きずるようなクレーン操作をしないで下さい。
- 着地前に一旦停止して、次の事を確認して下さい。(製品の傾き、転倒、及び周辺の安全確認)
- 巻き上げ中や運搬作業中には製品の落下、転倒範囲内には、立ち入らないで下さい。



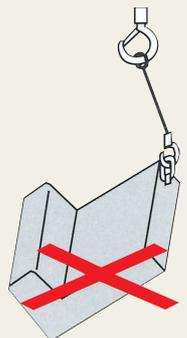
- 製品に大きな衝撃を与える作業はしないで下さい。
- 急激なスピードによる吊り上げ、吊り降ろしは、しないで下さい。
- 製品を破損させない様に静かに吊り上げ、吊り降ろしをして下さい。



金具の取り外し



- 製品から取り外し途中の状態再度吊り上げは、絶対しないで下さい。
- 製品が定位置に据え付け完了すると吊り金具を外します。この時、取り外した吊り金具は、側溝上に仮置きします。
- 吊り金具を全部、側溝上にある事を確認して下さい。



- 吊り金具を取り外す際、手、指を詰めないように注意して下さい。

保守点検・保管・改造について



- 吊り金具の改造は、絶対しないで下さい。
- 吊り金具に溶接、加熱などしないで下さい。
- 保守点検は、事業者が定めた専門知識のある人が行って下さい。
- 保守点検で異常があった時は、そのまま使用せず、ただちに廃棄して下さい。



- 吊り金具は必ず屋内に保管して下さい。